

**対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」**  
**ASEAN 招へい 第 25 陣**  
**テーマ：農地整備技術**  
**対象国：ベトナム**

外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」の一環として、2020年2月17日から2月23日まで、ベトナムよりベトナム農業農村開発省(MARD, Ministry of Agriculture and Rural Development)、農業・農村開発局(DARD, Department of Agriculture and Rural Development)に属する若手職員15名が訪日します。

本招へいでは、東京都および埼玉県、茨城県、千葉県を訪問し、「農地整備技術」をテーマに国際交流事業を実施します。一行は、東京都では、農林水産省でテーマに関係する講義を聴講、皇居前広場・二重橋も参観します。埼玉県では、関東農政局を訪問し、基本政策を学びます。また、茨城県の関東農政局管内や千葉県の篠本新井地区の現場を訪れ、持続的な資源・環境管理技術を視察するとともに、農業を強い産業にする為の関連技術を視察します。そこでは、同機構がより広く一般国民に機構を知ってもらう為に、どのように情報発信に注力しているか理解を深めます。

今回の交流事業を通じて、日本とベトナムの友好関係がより一層強化されるとともに、一行が日本の文化や魅力について積極的に発信することが期待されます。

[参考1]対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」

日本とアジア大洋州の各国・地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本の外交姿勢や魅力等について被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目指している。

<日程案>

2月17日(月)

ー訪日

2月18日(火)

ーオリエンテーション

ー【表敬・団体訪問】関東農政局

2月19日(水)

ー【視察】茨城中部農地整備事業所

ー【視察】篠本新井地区現地

2月20日(木)

- 【視察】食と農の科学館
- 【講義・視察】防災研究棟 農工研紹介ビデオ 圃場整備全般レクチャー&視察
- 【団体訪問】国際農林水産業センター(国際農研)

2月21日(金)

- 【表敬訪問】農林水産省
- 【講義】圃場整備事業概要
- 【講義】換地制度

2月22日(土)

- 【参観】皇居前広場・二重橋
- ワークショップ
- 成果報告会

2月23日(日)

- 離日